

平成25年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)開催要領

第1 大会の趣旨

全国から母子保健事業及び家族計画関係者の参加を求め、母子保健の諸問題についての研究討議により「健やか親子21」の推進を図るとともに、事業推進に功績のあった個人及び団体を表彰し、もって、我が国の母子保健事業及び家族計画事業の一層の推進を図る。

第2 主催

厚生労働省、山形県、山形市、社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、一般社団法人日本家族計画協会、公益社団法人母子保健推進会議

第3 後援

公益財団法人ジョイセフ、健やか親子21推進協議会、全国母子保健推進員等連絡協議会、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本薬剤師会、公益社団法人日本助産師会、公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本小児保健協会、公益社団法人日本産婦人科医会、一般社団法人日本小児科医会、公益財団法人母子衛生研究会、公益社団法人日本栄養士会、一般財団法人日本公衆衛生協会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本小児科学会、一般社団法人山形県医師会、一般社団法人山形県歯科医師会、一般社団法人山形県薬剤師会、公益社団法人山形県看護協会、山形県産婦人科医会、山形県小児科医会、公益社団法人日本小児科学会山形地方会、山形県小児保健会、山形県産科婦人科学会、山形県母性衛生学会、一般社団法人山形県助産師会、公益社団法人山形県栄養士会、山形県歯科衛生士会、山形県食生活改善推進協議会、山形県民生委員児童委員協議会、山形県保育協議会、公益社団法人山形県私立幼稚園協会、山形県国公立幼稚園会、山形県市長会、山形県町村会

第4 開催日

平成25年10月16日(水)～10月18日(金)

第5 会場

山形テルサ(山形県山形市双葉町一丁目2-3)

第6 参加者

母子保健事業及び家族計画事業関係者 約500人

第7 大会テーマ

「みんなが子育て応援団～健やかな妊娠・出産、すくすく子育て～」

第8 大会日程

(1日目)10月16日(水)

- ・母子保健関係者研究集会
- ・愛育班等組織支援担当者会議

(2日目)10月17日(木)

- ・式典
- ・特別講演
- ・母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会

(3日目)10月18日(金)

- ・シンポジウム
- ・家族計画研究集会ランチョンセミナー
- ・全国母子保健推進員等連絡協議会正副会長会議

第9 式典

1 挨拶

厚生労働大臣、山形県知事、山形市長、社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長、一般社団法人日本家族計画協会会長、公益社団法人母子保健推進会議会長

2 表彰

厚生労働大臣表彰、恩賜財団母子愛育会会長表彰、日本家族計画協会会長表彰、母子保健推進会議会長表彰

3 来賓祝辞

公益社団法人日本医師会長

4 受賞者謝辞

5 次期開催県挨拶

愛媛県

第10 特別講演

1 趣旨

山形県出身の絵本作家荒井良二氏から講演をいただき、参加者が地域のみんなで子育てを応援することを考える機会を提供し、地域全体で健やかな妊娠・出産・子育てを応援していく機運を高めていく。

2 講師 荒井 良二 氏 (絵本作家・山形市出身)

3 演題 「ぼくの絵本の窓から」

第11 シンポジウム

1 趣旨

現在の子育て支援の多くは、教室やサークルなど親子が出向くスタイルが多いが、親と子の様々な要因から、外に出てこのようなサービスを活用することが難しい親子に対する支援が必要となっている。このため、訪問型の子育て支援の実践者からの活動紹介や、今後の地域の力を活かした子育て支援の展開等についての提言をいただくことで、参加者が地域のみんなで子育てを応援することを考える機会とする。

2 テーマ

地域の力を活かして、みんなが子育て応援団～訪問型子育て支援から考えよう～

3 基調講演

講師 西郷 泰之 氏

大正大学人間学部教授、特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン代表理事

演題 「家庭訪問型子育て支援～地域の力を活かした子育て支援～」

4 パネルディスカッション

(1) コーディネーター

西郷 泰之氏

(2) パネリスト

山形県内市町村保健師、地域の母子保健支援者、子育て支援NPO代表者

附 則

この要領は、平成 25 年 7 月 8 日から施行する。